

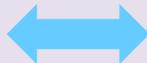


## 終戦から78年。この間に何を学んだのか

### 平和を学び、真実を学ぶ平和研修 *Learning Peace & Truth 2023*

広島・長崎の原爆が投下され、終戦から78年が経ちました。その過ちを繰り返さないために、二度と戦争はしないと誓った日本国憲法を国会で承認して発布し、それ以降、日本国内で「戦争」は起きていませんが、世界に目を向けると戦争は起きています。私たちは、なぜ、戦争は起きるのでしょうか。その「なぜ」や「真実」は何かを学び、後世に伝えていくために、千葉地本は長野地本と合同で現地で学ぶ、沖縄平和研修を開催しました。

さて、皆さんは「沖縄」と聞くと、どのようなイメージを持ちますか？青い海・白い砂浜といったリゾートを想像する人が多いと思います。しかし、イメージや学校で学習した「沖縄」と、現地で学ぶ「沖縄」とどのような違いがあるのか、研修で学んできたことを皆さんに問いかけながら情報にして報告します。



ひめゆりの塔



上記の写真で「ひめゆりの塔」はどちらでしょう？左側かと思いがちですが、本当は右側の石の塔です。インターネットで検索しても左側の写真が出てきます。左側の写真の白いのは納骨堂にカバーのようにつけられたものです。本来はその納骨堂に塔がついていましたが、カバーをかける際に取り除かれ今の位置に移動され立っています。なぜそのような事をしなければならなかったのでしょうか？

ひめゆり平和祈念資料館で、職場で取り組んだ色紙とカンパを渡してきました。ご協力頂いた組合員の皆さんに感謝申し上げます。近年はコロナの影響で入場者が減り経営が厳しいそうです。国や自治体の援助を受けると展示内容に色々制約がかかったりするので、経営は民間が行っています。この問題をどう思いますか？

### 平和祈念公園・平和の礎



現在は、沖縄戦で亡くなられた国内外20万人余の人々に6月23日に沖縄平和式典が開催されている施設です。また公園内には「平和の礎」がありますが、皆さんは「礎」はなんと読みますか？普通呼び名は「いしずえ」ですよね。でも、ここでは「いしじ」と読みます。なぜでしょうか？「いしじ」は沖縄の方言ですが、どこかへのアンチテーゼとも言われています。

### 荒崎海岸(ひめゆり最後の地)



沖縄本島最南端にあるサンゴ礁で出来たゴツゴツした海岸です。アメリカ軍に追い詰められ、本島の中央から南下して最後に着いたのがこの場所です。ひめゆり学徒9名と教師の平良松四郎の10名が集団自決しました。彼女達の御霊を弔うために、「ひめゆり学徒隊散華の碑」が建てられています。陸には銃を持った兵士、海にはおびただしい数の戦艦がいたそうです。追い詰められている状況に想像を絶することがわかります。



## 平和を学び、真実を学ぶ

Learning Peace & Truth 2023

千葉地本・長野地本合同平和研修 シリーズ②（沖縄）  
嘉手納基地・コザ（沖縄市）

千葉地本情報第8号に続き、地本で取り組んだ平和研修について、今一度皆さんと一緒に平和について考えていくために、シリーズで平和研修をご紹介します。

### 嘉手納基地



嘉手納基地とは、沖縄県の本島中部にある北谷町、嘉手納町、沖縄市の2市1町にまたがり、総面積は約19.85平方キロメートルで新宿区がすっぽり収まる規模なので、どれだけ大きいかかわかると思います。そして、米空軍基地としては極東で最大かつ最も活発な運用がなされている飛行基地です。写真は、沖縄市側のゲート付近の写真です。奥に見えるオレンジ色の屋根がゲートの警備塔です。この写真を見て遠くからではなく、もっと近づいて撮影すればいいのではないかと思うかもしれませんが、これ以上近づいて撮影すると、米軍に捕まるそうです。また、写真ではわかりませんが、奥に伸びる道路にオレンジ色のラインが引いてあります。そこから先は、「アメリカ」です。もちろん、ラインを超えると逮捕されます。その様な現実と隣合わせで住民の方は日常生活を送っています。

### コザ騒動とコザの街（沖縄市）



これらの写真は、どこの国の写真でしょうか？これらは紛れもなく沖縄県沖縄市のコザの写真です。まさに「アメリカ」といった雰囲気が出る街並みです。コザとは沖縄市の中心市街地であるコザ十字路から胡屋地区、中の町地区まで広がる文化圏の愛称です。米軍の嘉手納基地がある街なので、このような雰囲気にりましたが、基地の街だからこその事件も起きています。それが「コザ騒動」です。コザ騒動とは、1970年12月アメリカ人が運転する車両が道路横断中の男性と衝突して怪我を負わせた事故でした。事故処理中のMPを見物人が取り囲み、「糸満の二の舞を繰り返すな」と騒ぎました。糸満市で主婦をれき殺した米兵が軍事裁判で無罪となったばかりで、米軍への反感は高まっていた中に、MPの威嚇発砲をきっかけで駐車中のMPや外人車両に次々と放火し始めました。しかし、略奪や死者は出なかったそうです。よって、「暴動」ではなく「騒動」と呼んでいます。



（一部沖縄県のホームページより引用）